



二科春季展 2022年 東京都美術館  
個展ブースに5点を展示



## 有馬 <sup>ひろふみ</sup> 広文 さん (65)

[ 洋画家  
公益社団法人二科会会員  
油絵同好会ボラ会会長 ]

# 南さつま 縁人 VOL.52

MINAMISATSUMA ENGINE

「絵画と言えば特別なものとして見られるが、そうではない。もっと気軽に親しんでもらいたい」

公益社団法人二科会の会員で本市を拠点に活動する洋画家の有馬さん。絵画との出会いは、10歳の時に白黒テレビに映った絵画の制作風景で、引き込まれるように見ている自分を今でも思い出すといいます。中学2年の時に担任だった美術教師に手ほどきを受けながら油絵を描き始め、22歳で本格的に創作活動を開始、27歳の時に第69回二科展で初出品初入選を果たしました。以降、さまざまな苦勞・挫折がありながらも、洋画を本格的に学ぶフランス留学や国外を含めた数多くの個展開催、二科展への毎年出品など創作活動を続け、令和元年の第104回二科展絵画部門で推挙され、二科会会員となりました。

自営の仕事を持ちながら油絵の創作活動を続ける一方、後進の指導にも力を注いで文化の向上に貢献したいと、地域で活動する油絵同好会「ボラ会」では現会長兼講

師を務めています。「ボラ会」は、出世魚のボラにちなみ絵画の技術を上げていこうと、1965年に結成してから60年近く活動を続けており、多くの公募展入賞者を輩出してきました。現在は、中学生から80代の会員24名が在籍しています。毎月第2日曜の例会では、同じ題材で描き上げた作品を基に皆で勉強会を行い、会員相互の技術向上を図っています。

現在も、自身のアトリエで500号の超大作を含む作品を複数制作中の有馬さんは、「油絵を描き続けて50年を過ぎるが、描くことが好きでやりたいことを続けてきただけ。少しでも絵画に興味を持った人は、気軽に親しんで欲しい」と笑顔で話しました。



「ボラ会」では、6時間程集中して作品を描き上げます。

興味のある人は、まずは見学だけでもどうぞ。

【連絡先】「ボラ会」会長 有馬

☎ 0993-53-4719

南さつま市に住む、働く、生き生きと活動している人(団体)を、南さつま市の輝く原動力(エンジン)としてご紹介します。